

令和8年度事業計画

1. 基本方針

令和6年版(2024年版)高齢社会白書によると、我が国の総人口は、令和6年10月1日現在1億2,380万人で、その内65歳以上人口は3,624万人となり、総人口に占める割合(高齢化率)は29.3%となりました。

欧米諸国の高齢化率と比較して見ると、我が国の65歳以上人口は平成2(1990)年までは下位であったが、現在は最も高い水準となっており、今後も高水準が続くものと見込まれています。

我が国の総人口は、長期の減少過程に入っており、令和13年に人口1億2,000万人を下回った後も減少を続け、令和52年には8,700万人になると推計されている。また、65歳以上人口は、令和7年には3,653万人に達すると見込まれ、令和25年にピークを迎え、その後は減少に転じると推計されています。

総人口が減少する中で65歳以上の者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、令和19年には国民の3人に1人が65歳以上の者となると見込まれ、令和52年には38.7%に達し、国民の2.6人に1人が65歳以上の者となる社会が到来すると推計されています。

このように、将来的に労働力人口の減少が見込まれることから、長年培った知識、経験を十分に活かし、社会の支え手として意欲と能力のある限り活躍し続ける社会が求められ、その受け皿として『シルバー人材センター』は重要な役割を求められています。

しかしながら、改正高年齢者雇用安定法により70歳までの就業機会の確保が企業の努力義務となり、現状、会員拡大は大変厳しい状況になっています。

当センターでは令和8年度も引き続き会員拡大に重点を置き、特に女性会員の活躍の場が増えると予想されることから、女性会員の拡大も目指していきます。

また、就業時の事故防止の為に、引き続き安全意識を向上させ「事故ゼロ」を目指してまいります。

今年度も「自主・自立、共働・共助」の事業理念のもと、第5次中期計画のスローガンである「健康で、地域に貢献、仲間と生きがい」の実現を目指して事業を推進してまいります。

2. 事業実施計画

■ 会員拡大

(1) 会員入会促進

地域への貢献、センターの発展のために会員入会促進を図ります。

- ① 入会説明会を毎月1回開催し、シルバー人材センターの活動や、仕事の種類などについてわかりやすく説明します。
- ② 「新入会員紹介カード」を会員へ配布し、「一人一会員入会」の勧誘活動を推進します。ポイント付与により一層の推進を図ります。
- ③ 町広報紙の広告、シルバー広報紙及びチラシ等の活用や、ホームページを随時更新するなど内容を充実させ、シルバー事業の周知を図ります。
- ④ 様々な手段、媒体を通じて魅力ある就業のPRに努めます。
- ⑤ 各種イベントや就業開拓等、各種機会を活用して、シルバー事業の啓発活動を展開します。
- ⑥ 関係機関との連携を検討します。

(2) 女性会員の拡大

全会員数に占める女性の割合を高め、女性会員の拡大の取組みを推進します。

- ① 女性の参加しやすい入会説明会やイベントを検討します。
- ② 女性会員が気軽に就業できる仕事の確保と拡大を推進します。
- ③ 女性会員の意見・要望等の実現を支援します。
- ④ 女性役員の登用を推進します。

(3) 退会抑止の取組み

会員の高齢化が進む中で、高年齢になっても健康を保持し、活躍できる取組みを進めます。ゴールド会員制度の定着を図り、高年齢者の支援と退会抑止に努めます。

- ① 会員の健康維持を図り、会員の健康長寿を目指します。
- ② 高齢者が無理なく就業できる環境づくりに努めます。
- ③ ゴールド会員制度を推進し、退会抑止を図ります。
- ④ 長期在籍会員の表彰制度を検討します。

■ 就業機会の確保・拡大

(1) 請負・委任事業の拡大

会員へ就業機会を提供するため、就業機会の確保・拡大に努めます。

- ① 就業開拓を推進し、高齢者や女性の就業を拡大します。
- ② 除草及び庭木剪定の就業会員の確保に努めます。
- ③ 顧客満足度調査を行い、地域のニーズの把握に努めます。
- ④ 受注のデジタル化について調査研究します。
- ⑤ 会員の経験、能力及び希望する就業の把握に努め、就業相談を充実させます。

(2) 派遣事業の拡大・有料職業紹介事業の実施

会員に対し多様な就業機会を確保し提供するため、愛知県シルバー人材センター連合会の実施事務所として派遣事業の拡大を図ります。

- ① 就業開拓を推進して派遣先の確保と拡大に努めます。
- ② 派遣の状況に応じて就業時間の拡大措置を検討します。
- ③ 就業の拡大に伴い、産業医の選任及び衛生管理者を設置します。
- ④ 直接雇用を希望する事業所・企業等に会員を紹介する有料職業紹介事業を実施します。

(3) 独自事業の検討

新たな独自の事業を検討し、就業機会の拡大を図ります。

- ① 会員の経験、技能を活かし新規の独自事業を創出します。
- ② 会員の作品作成を推奨します。
- ③ 会員の趣味を拓げるために新規の各種教室等を検討します。

■ 安全・適正就業の推進

(1) 安全就業の推進

「就業事故ゼロ」・「安全は全てに優先すること」を会員一人ひとりに徹底し、会員の安全意識の向上を図ります。

- ① 就業前の作業手順の確認と就業中の安全対策を徹底します。
- ② 職種毎の安全講習会を開催して安全意識の高揚を図ります。
- ③ 会員にメール等を活用して事故防止を呼びかけます。
- ④ 安全パトロールを強化します。
- ⑤ 飛び石事故防止対策を徹底します。
- ⑥ 事故を減らすために、会員相互の情報の共有を図ります。

(2) 適正就業の推進

「適正就業ガイドライン」及び関係法令に沿った適正な就業が行われるよう努めます。

- ① 会員及び発注者に「適正就業ガイドライン」の周知徹底を図ります。
- ② 未就業者の減少に努めます。

(3) 会員の健康管理の推進

会員の健康保持のため、特定健診の受診勧奨、熱中症予防の啓発など健康意識の向上に努めます。

- ① 健康管理のために住民健診（特定健診）の受診を勧奨します。
- ② 健康維持及びフレイル予防のために「健康講座」を開催します。
- ③ 熱中症対策を講じます。

■ 運営体制の充実・強化

(1) 運営組織の充実

運営組織の充実・強化を図り「自主・自立」の組織運営を目指します。ボランティア活動を推進し、地域社会に貢献します。また、財政基盤の強化と安定した財政運営を行います。

- ① 会員への迅速な情報発信を推進します。
- ② 理事会及び専門委員会の機能強化と活性化を図ります。
- ③ 持続可能な開発目標（SDGs）の登録と取組みを検討します。
- ④ 地域班及び職群班の活動を再検討します。

(2) 地域貢献活動の充実

ボランティア活動を推進し、地域社会に貢献します。

- ① 10月第3土曜日の全国「シルバーの日」に合わせて地区班長を中心に道路清掃等のボランティア活動を実施します。
- ② ボランティア活動に多くの会員が参加できるように活動内容、運営方法等を検討します。

(3) 事務局の充実

センターの効率的かつ安定的な運営体制を確保するため、事務局の充実に努めます。

- ① 地域貢献活動を積極的に推進します。
- ② 地域貢献活動の方法を再検討します。

(4) 財務基盤の充実

財政基盤の強化と安定した財政運営を行います。また、公益社団法人として収支相償を基本とした財務管理に努めます。

- ① 今後も健全財政を維持していきます。
- ② 国町の補助金を最大限活用していきます。
- ③ 経費の削減と効率的執行に努めます。
- ④ 法改正及び経費の状況に応じた適正な事務費を検討します。

(5) 指定管理施設の適正な管理運営

適正な管理運営に努めます。

- ① 利用増進を図り、適正な管理運営に努めます。
- ② 社会情勢に適した指定管理料を町に要望していきます。
- ③ 町と協議しながら施設の修繕と設備の更新に努めます。

令和8年度 事業実施計画

月	総会・理事会	委員会・班長会	研修会・講習会	その他
4		安全適正就業委員会 班長会	県 SC 安全適正就業推進員 研修会 安全講習会	会報発行(4月号)
5	第1回理事会 第1回監事会	班長会	健康づくり教室①	
6	定時総会	企画広報委員会	派遣事業連絡会議① 健康づくり教室②	東海 SC 通常総会 県 SC 定時総会
7	第2回理事会	企画広報委員会	県 SC 安全適正就業推進大 会 知多ブロック会長・局長 合同会議 県 SC 担当職員研修会 健康づくり教室③	安全・適正就業強化月間 一人一会員入会促進月間
8		事業開拓委員会	健康づくり教室④	広報「シルバー武豊」発行 (8/1号)
9	第3回理事会	事業開拓委員会 班長会	安全講習会 健康づくり教室⑤	
10	第2回監事会	企画広報委員会 事業開拓委員会	県 SC 事務局長会議① 県 SC 事業推進交流大会 派遣事業連絡会議② 健康づくり教室⑥ 安全パトロール	普及啓発月間 地域貢献活動(清掃ボランテ ィア)・地区交流会
11	第4回理事会	企画広報委員会 事業開拓委員会	会長会議・女性会議	会報発行(11月号) PR 活動(町産業まつり) 一人一仕事開拓促進月間
12		企画広報委員会	安全講習会	
1	第5回理事会		県 SC 事務局長会議②	広報「シルバー武豊」発行 (1/1号)
2		企画広報委員会	県 SC 担当職員研修会	
3	第6回理事会	企画広報委員会		

※会員入会説明会 毎月第2水曜日